

『13人の魔女への扉』

◇ 反抗的だった少女が、たったひとり時間を旅する中でつかんだのは—— ◇

野間児童文芸賞受賞作家・長谷川まりる氏の最新長編作品をお送り致します。

舞台は架空の田舎町、20世紀前半を思わせる時代。主人公のスーは、強がっていてもナイーブな13歳。過去それぞれの時代で生きている魔女に会い、村の秘密を知るうちに、村の未来を考え始めます——。

主人公の勢いのある語りも魅力的で、未来を考える今の時代にこそ、多くの方に読んでいただきたい壮大な作品です。

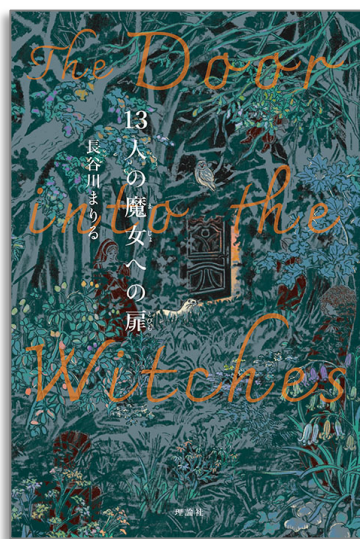
ぜひご高覧賜りますようよろしくお願い致します。

～STORY～

スーの住む村では、代々魔女が選ばれ、村を守り、特別な植物を育ててきた。魔女に選ばれるのはいつも、村人のなかで賢くて優しい女性たち。ある日スーは、いまの12番目の魔女から、「13番目の魔女」に選ばれる。あまのじゃくなスーは自分は魔女なんて向いていないと断ろうとするが、魔女の家のドアを開けると、なぜかべつの魔女の時代に飛ばされていて……。

長谷川まりる

長野県で生まれ東京で育つ。2019年『お絵かき禁止の国』でデビュー。2022年『かずみ川の人魚』で日本児童文学者協会新人賞、2024年『杉森くんを殺すには』で野間児童文芸賞を受賞。他に『呼人は旅をする』『アリーチェと魔法の書』『ぼくのシェフ』『この世は生きる価値がある』『花売り姫』など多数。



装画：たかまるゆうか

装幀：池田進吾

対象：中学生くらい～大人まで

四六判上製 318ページ

定価 1,870円(税込)

ISBN978-4-652-20756-7

本書についてのお問い合わせ先 理論社編集部 岸井美恵子

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5

tel.03-6264-8891 fax.03-6264-8893 メール kishii@rironsha.co.jp